

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積

# 官庁施設の電力確保等対策により、災害応急対策活動を確実に実施する（秋田県秋田市）

事業者：国土交通省 東北地方整備局 営繕部



自家発電設備 改修前



自家発電設備 改修後



止水板設置：地下階に設置している受変電設備、自家発電設備の洪水による浸水を防ぐため設置

**対策名：**43 災害応急対策活動に必要となる官庁施設の電力の確保等対策



**主たる施策グループ：**3-2) 首都圏での中央官庁機能の機能不全

**事業名：**秋田第2地方合同庁舎における電力確保等対策

- ポイント**
- 官庁施設の受変電設備、自家発電設備の更新及び止水板の設置を実施
  - 大雨等の災害時も電力を維持し、災害応急対策活動を確実に実施

## 地域の概要・課題

秋田第2地方合同庁舎は秋田県秋田市にあり、災害応急対策活動を実施する官署が入居する官庁施設です。

令和5年7月の大雨により秋田市内に浸水が発生し、当該施設は浸水を免れましたが、ハザードマップ上浸水する地域となっています。

秋田市内を流れる雄物川等の近隣河川が氾濫し、地下階に設置している受変電設備、自家発電設備が浸水した場合、災害応急対策活動に支障が生じるおそれがありました。

## 事業の概要

災害応急対策活動への支障解消を目的として、設置後30年以上が経過している受変電設備、自家発電設備の更新（1週間の連続運転可能な仕様の発電機の設置等）及び浸水対策として止水板の設置を行いました。

## 見込まれる効果

受変電設備改修、自家発電設備改修、止水板設置の実施により、地震や大雨などの災害時においても電気関係設備が問題なく使用できる状況となり、災害応急対策活動への支障が解消され、的確な業務継続が可能となります。



令和5年7月 秋田県秋田市内の浸水状況  
(出典：東北地方整備局HP)